

### Q 1. 協会に行き参加するのは、何日間なのでしょう？

- A. ワークショップはこれまで2日間連続としていましたが、今年度はインデックス調査の見方、現状分析のための説明会を8月に1日。それから9月にワークショップ個別ワーク、全体討議を1日。その後、約4ヶ月間、病院で取り組みを行います。翌年1月にフォローアップワークショップ（WLB取り組み状況報告会）（0.5日）を行います。この全てに参加する必要があります。

### Q 2. フォローアップワークショップって（WLB取り組み状況報告会）？

- A. ワークショップを受けて、自分たちの病院で取り組んできたことを発表してもらい、それを参加施設や支援者と全体で検討します。WLB取り組みの方向性について、助言を得られ、再確認できます。

### Q 3. 誰がワークショップに参加すると効果的ですか？複数人で参加してもよいのですか？

- A. 経営的なことも含めたアクションプランを考えますので、看護管理者、事務部長（人事・事務担当者）のほか、現場をまとめる看護師長や若いスタッフ、他部門のスタッフもそろって参加すると効果的です。参加人数の目安は6名程度です。

### Q 4. 2日間のワークショップでアクションプランが立てられるのでしょうか？

- A. 最初の1日間のワークショップでは、まず、ワーク・ライフ・バランスについて正しく理解すること、「看護職のワーク・ライフ・バランスインデックス調査（N-WLBI）」結果から、自分の病院のWLB支援などの現状を正しく把握してもらうことが目標です。  
もちろん、すでに先行してWLB支援に取り組んでいる病院では、アクションプランの見直しから入ってもらうことも可能です。参加施設が最大2施設なので、その病院の進捗度を確認しそれにあったペースでサポートします。

### Q 5. フォローアップワークショップまでの4か月だとあまり何もできないのでは？

- A. それぞれの病院の状況に応じて取り組んでいただければ結構です。フォローアップワークショップまでの4ヶ月間は、これから継続してWLB支援を行っていくための最初の一步と位置づけています。まずはインデックス調査結果やワークショップの報告から施設全体への協力と理解をよびかけ、推進体制づくりからスタートです。ワークショップでは長期的、短期的な目標や行動プランを検討しますので、できるところから、一步一步進めていきましょう。フォローアップワークショップ終了後も、継続的に支援をしていきますので、いつでもご相談にのります。

### Q 6. どういった人たちがワークショップでサポートしてくれるのですか？

- A. すでに、県内で先行してWLBを推進している病院の看護管理者、事務部長など地域のこともよくわかっている方や、WLBについての有識者、コンサルタントの方たちです。ワークショップでは、各グループに、そのうちの2～3人が参加します。

### Q 7. 『看護職のワーク・ライフ・バランスインデックス調査（N-WLBI）』は、誰が対象なのですか？

- A. この調査は施設調査と個人調査から構成されています。  
◇施設調査は、看護管理者が事務部長（人事・事務担当者）にご相談されながら回答されるのが一般的だと思います。  
◇個人調査は、全看護職員が対象です。紙の調査票を配るのではなく、インターネットを介して回答してもらいます（どうしても紙の調査票のほうがよい場合は、ご相談にのります）。

### Q 8. ところで、ワークショップの参加費用は？

- A. インデックス調査のみ費用がかかります。その他は無料です。

例 勤務する看護職 100 名の場合：約 60000 円

300 名の場合：約 70000 円